

# 日本設備工業新聞

発行所  
(株)日本設備工業新聞社  
東京都渋谷区桜丘町10-13  
〒150-0031 野元第1ビル  
電話 (03) 3496-4774  
FAX (03) 3464-1884  
info@setubikogyo.co.jp  
年額8,800円(税込送料込)

TOTO  
システムバスルーム シンラ  
SYNLA  
詳細はカタログまたは  
弊社WEBサイトをご覧ください。  
<https://jp.toto.com>

# 戦略的水環境管理へ

## 下水道の大きな転換期に対応

国土交通省は11月6日、東京・新宿区の日本下水道新技術機構会議室で第1回「戦略的な水環境管理のあり方検討会」(座長・田中宏明京都大学名誉教授)をWEB併用で開催した。下水道における水環境への取り組みが大きな転換期を迎えていることから、産学官の有識者を集めて望ましい水環境管理政策に関する検討を開始。新たに地域ごとのニーズを踏まえて各水域の目標を設定することも、流域関係者と連携した最適な下水道対策を展開していく。

## 目標達成へ流域関係者と連携

水環境に対する新たなニーズの高まりに加え、人口減少社会への対応や脱炭素社会の実現に向けた下水道事業の貢献が急務の課題となっている。このため同省は学識者や地方公共団体、水関連企業などで構成する検討会を新たに立ち上げ、幅広い視点から議論を進めていくことにした。



松原下水道部長



田中座長

初会合では国土省の原誠水管理・国土保全局長が「下水道は、水環境を改善するだけでなく、気候変動対策にも重要な役割を果たしている。従来型の施策を継続するのではなく、変化に応じた柔軟な対応が不可欠となっている。下水道における水環境政策の位置づけも約20年前の関連法改正から十分な議論が行われていなかった。来年4月から下水道行政が当省に移管されるタイミングに併せて、併せて外側から下水道を見直し、流域全体を俯瞰することが重要だ。水質管理など



国土省検討会が初会合で活発に意見交換

議論が行われていなかった。来年4月から下水道行政が当省に移管されるタイミングに併せて、併せて外側から下水道を見直し、流域全体を俯瞰することが重要だ。水質管理など

一定の基準を満たした潜熱回収型給湯器(エコジョーズ・エコフィール)を対象として従来型給湯器からの取り替えを行う場面に助成。工事業者の申請に基づきオーナーに補助金を還付する。1台あたりの助成額は追い炊き機能のない機種が5万円、追い炊き機能付機種が7万円となっている。

一方で、下水道関係ではGX(グリーントランスフォーメーション)推進の一環として下水汚泥の処理を加速していく。ウオーターPPP(上水道・工業用水の官民連携運営方式)には約50億円を計上した。スモークセッション(自治体所有施設を活用した小規模事業)の機運醸成・

ただきながら活発な議論を進めていく」と意欲を示した。議事では水環境関係法令や下水道の放流水質基準、流域別下水道整備総合計画、全国の下水道の整備状況、水質処理の現状、水質基準達成状況、脱炭素化への対応、各種省エネ対策、窒素・りん

の資源管理、都道府県の動向、広域化・共同化、処理レベルの最適化状況などを確認。論点整理では①地域ごとに異なる望ましい水環境の実現に向けた下水道のあり方②さまざまな社会的要請に効果的に対応する下水処理のあり方③流域全体を俯瞰した全体最適(流域管理)による下水処理のあり方④流域関係者との連携のあり方などを今後の議論の方向性として打ち出した。

同検討会では来年5月頃に中間報告、令和7年2月をめどに最終報告をまとめる方針だ。

## 住宅の省エネ化へ支援強化

### 閣議決定 デフレ脱却の総合経済対策

政府は11月10日、デフレ完全脱却のための総合経済対策として令和5年度補正予算案を閣議決定した。新たに住宅の省エネ化の支援を強化する補助制度などが盛り込まれた。国会の議決を経て正式に決定する。

省エネ化の支援強化は国土交通省、経済産業省、環境省が連携して取り組んでいく。住宅の省エネ改修や高効率給湯器の導入をワンストップの窓口を設置して支援する。

高効率給湯器設置支援事業では約580億円を家庭部門、約185億円を賃貸集合住宅向けに計上。家庭部門は機器別に定額を助成し、ヒートポンプ給湯器(エコキュート)は10万円、ハイブリッド給湯器は13万円、エコネファーム(家庭用燃料電池)は20万円を1台ごとに補助する。寒冷地における蓄熱暖房機などの撤去費助成措置も盛り込んでいる。

賃貸集合住宅向けでは

一定の基準を満たした潜熱回収型給湯器(エコジョーズ・エコフィール)を対象として従来型給湯器からの取り替えを行う場面に助成。工事業者の申請に基づきオーナーに補助金を還付する。1台あたりの助成額は追い炊き機能のない機種が5万円、追い炊き機能付機種が7万円となっている。

一方で、下水道関係ではGX(グリーントランスフォーメーション)推進の一環として下水汚泥の処理を加速していく。ウオーターPPP(上水道・工業用水の官民連携運営方式)には約50億円を計上した。スモークセッション(自治体所有施設を活用した小規模事業)の機運醸成・

ただきながら活発な議論を進めていく」と意欲を示した。議事では水環境関係法令や下水道の放流水質基準、流域別下水道整備総合計画、全国の下水道の整備状況、水質処理の現状、水質基準達成状況、脱炭素化への対応、各種省エネ対策、窒素・りん

の資源管理、都道府県の動向、広域化・共同化、処理レベルの最適化状況などを確認。論点整理では①地域ごとに異なる望ましい水環境の実現に向けた下水道のあり方②さまざまな社会的要請に効果的に対応する下水処理のあり方③流域全体を俯瞰した全体最適(流域管理)による下水処理のあり方④流域関係者との連携のあり方などを今後の議論の方向性として打ち出した。

同検討会では来年5月頃に中間報告、令和7年2月をめどに最終報告をまとめる方針だ。

## 国立がんセンター・東横インホテル等、1,000か所施工完了

### 接着剤を使わないことが技術です。



#### DH5.0配管

大型施設の横主管に最適/300Aまでラインナップ



横浜市立市民病院地下駐車場の天井配管(100A~300A)

#### ワンタッチ2040消音配管

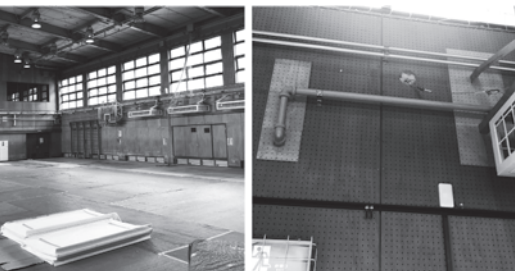
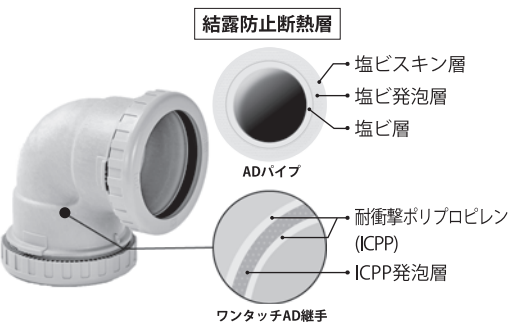
パイプを差し込んで袋ナットを締めるだけの簡単施工



全国のホテル・病院・マンション等新築・改修工事に約1,000現場採用

#### 空調用ワンタッチAD配管

保温材不要/ワンタッチ施工



東京都渋谷区幡代小学校体育館